



製藥協

資料8

第12回 健康・医療戦略参与会合

2016年10月31日

日本製薬工業協会 会長

畑中 好彦

世界最先端の健康立国 の実現に向けて

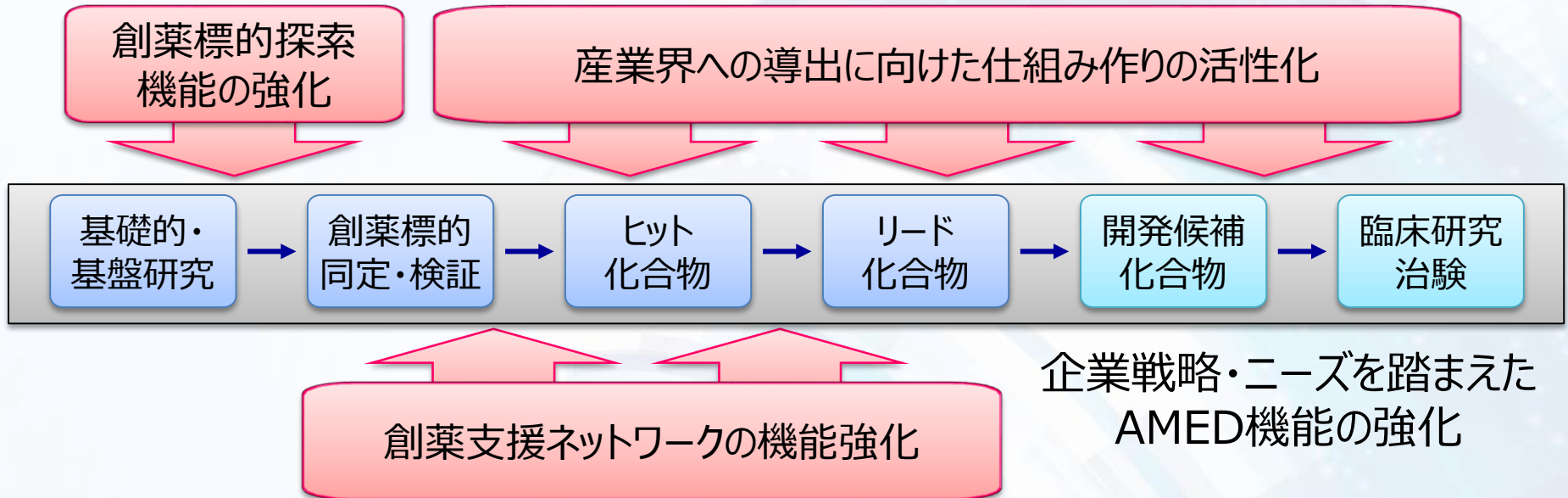
「日本再興戦略2016」を踏まえ「健康・医療戦略」及び
「医療分野研究開発推進計画」で強化すべき主な事項

AMED機能の更なる強化

医療ビッグデータの活用

国際展開の推進

AMED機能の更なる強化



- バイオバンク整備、コホート研究推進による疾患の発症メカニズム解明に基づいた創薬標的探索機能の更なる強化が必要
- 成果創出に向けたDISCプロジェクト等の規模拡大・効率化による創薬支援ネットワークの機能強化が必要
- 産学官連携強化、知財支援、医療系ベンチャー企業支援等による産業界への導出に向けた仕組み作りの活性化が必要

医療ビッグデータの活用

医療ビッグデータ

- ・ ゲノムデータ
- ・ オミックスデータ
- ・ レセプトデータ
- ・ 電子カルテデータ
- ・ 検診データ
- ・ ウェアラブルデータ

人工知能

大量データからの多様な「個別化パターン」の学習と抽出

創薬

疾患の発症メカニズム解明
バイオマーカー探索

医療ビッグデータを有効活用し、疾患の発症メカニズム解明やバイオマーカー探索を推進。日本発の革新的な医薬品の創出に繋げる。

- NDB(ナショナルデータベース)をはじめ、レセプト、電子カルテ、ゲノム、オミックスデータ等、各医療ビッグデータ間の連結、民間企業の利活用等が進むよう産官学での推進が必要
- 人工知能等の先端的なICT技術を活用し、医療ビッグデータを網羅的に解析する新規手法の開発に向けた産学官連携の場が必要

国際展開の推進

政府・当局の主導を支援
(医薬品産業強化総合戦略、
国際薬事規制調和戦略、
PMDA国際戦略2015)

官民訪中ミッションの継続
による日本-中国当局間
の関係強化

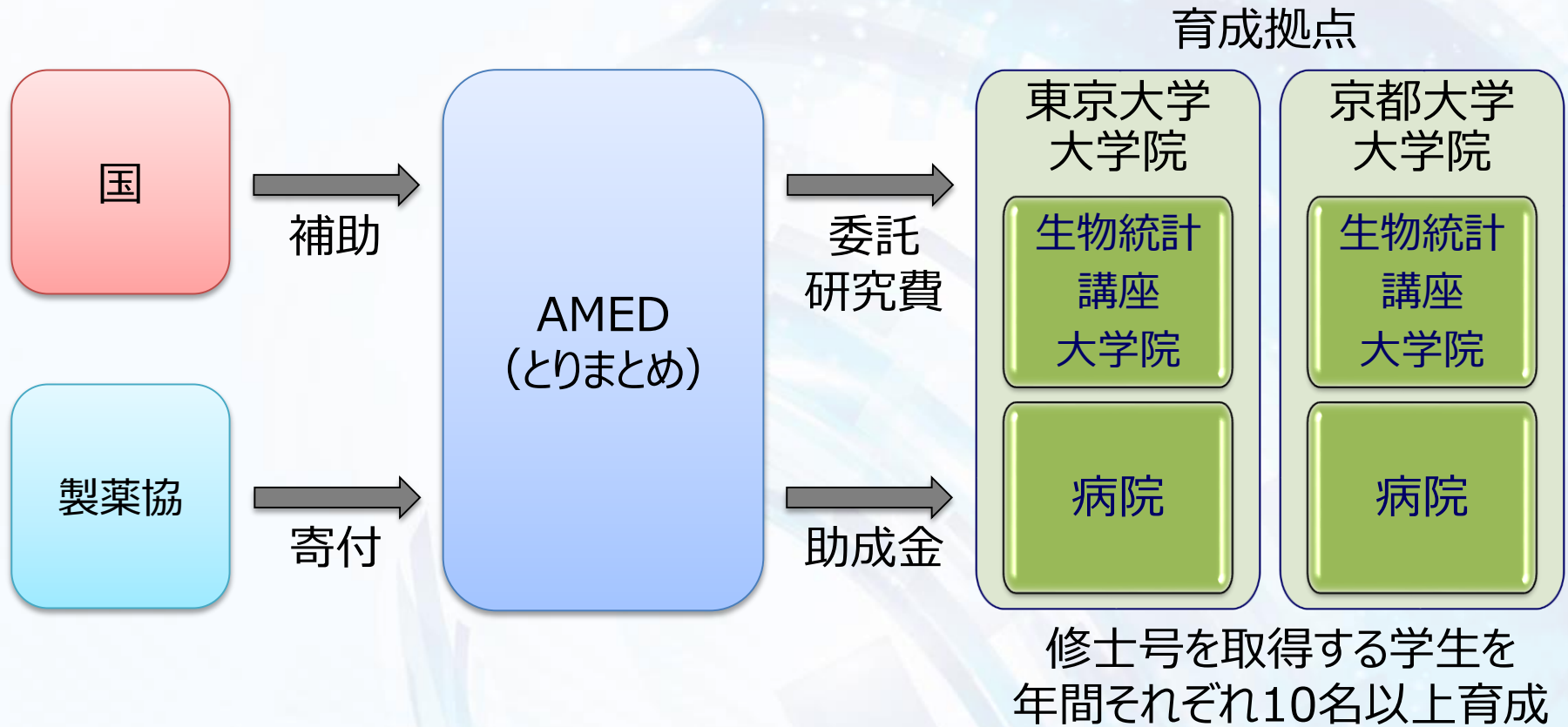
A P A C (アジア製薬団体
連携会議)の活用による
二国間の協力関係深化

知的財産権による
研究開発成果の
適切な保護

国際展開に向けた基盤整備・課題に官民共同で対応することが必要

參考資料

生物統計家育成支援事業



製薬協は、臨床研究・治験の質の向上を目指し、
産学官で生物統計家の育成を支援



製薬協